

協議 2

第 2 次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗評価について

1 概要

平成 28 年度から平成 32 年度までを計画期間とする「第 2 次秋田市公共交通政策ビジョン」および「第 2 次秋田市総合交通戦略」について、毎年、成果目標指標の達成度を確認し、必要な改善を行うこととしていることから、平成 29 年度の状況の評価に関し協議を行うものである。

2 進捗状況等

資料 1 のとおり

第2次秋田市公共交通政策ビジョンおよび第2次秋田市総合交通戦略の進捗評価について

1. 成果目標指標管理表

①目標（目標Ⅱは「基本的な方針」）	②施策パッケージ（目標Ⅱは「目標」）	③該当指標名	④番号	⑤データ定義	⑥データ出典	⑦調査頻度	⑧現況値年次	⑨現況値	⑩H27実績	⑪H28実績	⑫H29実績	⑬実績を踏まえた今後の方針
目標Ⅰ 歩行者、自転車 が安全・安心かつ 快適に利用できる空間の整備 の實現	歩行者、自転車 が安全・安心かつ 快適に利用できる空間の整備	中心市街地の歩行者・自転車 交通量	1	中心市街地11地点の歩行者・自 転車通行量(日)	秋田市中心市街地活性化基本計 画 目標指標	毎年	H27	35,056人	35,056人	34,331人	30,753人	芸術文化ゾーンの形成や中心市街地循環バス運 行事業などの中心市街地活性化基本計画掲載事 業により、新たなまちの魅力とにぎわいを創出 し、来街頻度を高めるとともに回遊性を向上さ せることで改善を図っていく。
		市内の交通事故死傷者数 (歩行者・自転車関連)	2	交通事故死傷者数(年) (人対車、自転車対車の合計)	秋田市交通政策課作成資料 (ホームページ公表)	毎年	H26	247人	251人	264人	250人	「歩行者ファースト」の機運醸成を図るため、 交通安全に関する広報や街頭指導等により、交 通事故防止に努めていく。
		市内の高齢者交通事故死傷者 数	3	高齢者交通事故死傷者数(年)	交通統計(秋田県警察本部)	毎年	H26	174人	201人	238人	232人	高齢者等を対象とした交通安全教室および反射 材の普及促進となる街頭キャンペーン等の実施 や、公共交通の利用促進により、交通事故防止 に努めていく。
	にぎわいに寄与 する交通環境の 實現	中心市街地循環バスの利用者 数	4	中心市街地循環バス「ぐるる」 利用者数(年)	秋田市交通政策課作成資料(中 心市街地循環バスの運行実績)	毎年	H26	52,166人	56,460人	56,728人	59,825人	利用者数は増加しており、PRリーフレットの 配布や1日乗車券の販売により、利用促進を 図っていく。
		中心市街地内の観光入込客数	5	中心市街地内10地点の観光入込 客数(年)	秋田県観光統計	毎年	H26	764,131人	715,456人	756,613人	720,454人	芸術文化ゾーンの形成や中心市街地循環バス運 行事業などの中心市街地活性化基本計画掲載事 業により、新たなまちの魅力とにぎわいを創出 し、来街頻度を高めるとともに回遊性を向上さ せることで改善を図っていく。
		市民による「まちのにぎわ い」満足度	6	「まちのにぎわい」が「よい」「ど ちらかといえばよい」「ふつう」と 回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	28.6%	—	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
目標Ⅱ まちづくりと 一体となっ た、将来にわ たり持続可能 な公共交通網 の實現	多核集約型の都 市構造を形成す る公共交通網の 整備	路線バス利用者数	7	市内の路線バス輸送人員(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	7,672千人	7,372千人	7,208千人	7,197千人	高齢者コインバス事業や広報あきたでの呼びか け、バス案内システムの利便性向上などにより、 利用促進を図っていく。
		マイタウン・バス利用者数	8	市内のマイタウン・バス輸送人 員(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	195千人	187千人	173千人	169千人	上記のほか、各地域の運行協議会において利用 促進について検討していく。
	利便性向上、バ ス路線運営適正 化に向けた取組 みの推進	市民による「バス、電車など の利用しやすさ」満足度	9	「バス、電車などの利用しやすさ」 が「よい」「どちらかといえばよ い」「ふつう」と回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	46.6%	—	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
		市内のバス運送収入	10	路線バスの運送収入(年)	秋田市交通政策課作成資料	毎年	H26	1,526百万円	1,461百万円	1,424百万円	1,414百万円	高齢者コインバス事業や広報あきたでの呼びか け、バス案内システムの利便性向上などにより、 利用促進を図っていく。
	持続可能な公共交 通の確保に向けた仕 組みづくりの推進	公共交通に関する協議会や検 討会に参加した機関・団体数	11	秋田市地域公共交通協議会及びマイ タウン・バスの各運行協議会に参加 した機関・団体数(重複は除く) (年)	参加状況を独自に集計	毎年	H26	64団体/79団体 (81%)	73団体/85団体 (86%)	69団体/82団体 (84%)	56団体/81団体 (69%)	引き続き、協議会等への参加を促進し、公共交 通の維持確保に関する意識啓発を行っていく。
目標Ⅲ 拠点間ネット ワークを形成 する道路網の 實現	多核集約型都市の 骨格となる道路網 の整備	都市計画道路の整備率	12	都市計画道路の路線延長に対す る供用延長の比率(※概成済み 延長は含まない)	路線別都市計画道路整備状況	毎年	H26	74.33%	74.46%	74.48%	74.60%	第6次秋田市総合都市計画に基づき、整備を推 進していく。
	拠点間ネット ワークを強化し 走行性を高める 道路整備	市民による「道路の整備状 況」満足度	13	「道路の整備状況」が「よい」「ど ちらかといえばよい」「ふつう」と 回答した割合	しあわせづくり市民意識調査	5年毎	H26	69.6%	—	—	—	平成31年度の実績を踏まえた上で検討する。
		拠点間のピーク時間帯所要時 間	14	4地域の市民SCと秋田駅の朝 ピーク時の所要時間を計測	秋田市交通政策課担当者が所要 時間をストップウォッチにより 計測	中間年 最終年	H27	40分	40分	—	—	平成30年度の実績を踏まえた上で検討する。
	安全で円滑な交 通の實現に向け た取組	市内の交通事故死傷者数 (自動車関連)	15	交通事故死傷者数(年) (車対車)	秋田市交通政策課作成資料 (ホームページ公表)	毎年	H26	879人	829人	923人	835人	交通安全意識および交通ルール遵守についての 啓発活動等により交通事故防止に努めていく。
		市内の主要渋滞箇所数	16	市内の主要渋滞箇所数	秋田県渋滞対策協議会作成資料 (ホームページ公表)	不定期	H24	36箇所	—	35箇所	35箇所	渋滞対策を実施しつつモニタリングを継続す る。(秋田県渋滞対策推進協議会資料より)